科目名	番組制作2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	高沢敦博		教員の実務経験		なし	実務経験の職種			

【 科目の目的】

映画・映像評論家とならずとも、製作者として正しい映像の見識を持ち、コンテンツを「 主題」「 脚本」「 演出」「 撮影技術」「 演技」と視点を複数持ち鑑賞できるスキルを持つことを目的とする。

【 科目の概要】

この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。特にグループワークでは他人に気を遣い過ぎず、まず他人を傷つけることなく自分の意見を上手に伝えること、さらに相手の話をきちんと最後まで聞き、すぐに否定せず理解することを促す。そしてチームの意見としてまとめる努力をする。決して答えがあるわけではない映画を使い、習慣づけることを狙いとする。

【 到達目標】

学生が特に＜実習＞において学ぶ技術は、実際どういった場面で、どのように生かせるのか、より視覚的なアプローチで示す授業である。学生は様々な映画、TV番組、映像を解説付きで鑑賞し、撮影技法、演出方法を一体的に学ぶことになる。
映像から、それはどのようにどこから撮影されているかを想像し、理解することがひとつの目標となる。

【 授業の注意点】

この授業では言葉を発することを促し、思っていること・意見を積極的に言えるようにし、多角的なモノの見方を学ぶので、学生同士の会話をある程度許容する。教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。まず受け止め肯定し、いい点を褒める。次に反対意見、違う意見を求め、対話をリードする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A 撮影・画角・照明	映像を観て、その撮影がどのように行われたかを推測できる		映像を観て、その撮影がどのように行われたかをある程度推測できる		映像を観てもそれがどのように撮影されたか想像もできない
到達目標 B 編集と意図	映像を観て、その編集の意図を汲み取ることができる		映像を観て、その編集の意図をある程度汲み取ることができる		映像を観ても、その編集の意図がわからない
到達目標 C 非言語の理解	説明的なセリフはなくとも、映像で伝えようとしていることを正しく汲み取ることができる		映像で伝えようとしていることの雰囲気をくみ取れる		セリフがないと理解できない

【 教科書】

【 参考資料】

【 成績の評価方法・評価基準】

期末課題レポート

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	番組制作2	年度	2025
英語表記		学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	歴史と向き合う			歴史と向き合う	伝えるということ		
					そしてメディアの仕事を考える		
2	撮影技術（４）様々なショット			撮影技術（４）	３分割法、画角		
				様々なショット	人物の動かし方		
3	ヨーロッパとキリスト教			ヨーロッパと	感性で受け止めることと、知識の使い方		
				キリスト教			
4	撮影技術（５）レンズと被写界深度			撮影技術（５）	レンズの種類と特徴と活かし方		
				レンズと	レンズによる被写界深度の変化		
				被写界深度			
5	リメイクとパロディと著作権			リメイクと	法的な背景と各国との違い		
				パロディと			
				著作権			
6	世界の映像を知る①インド			世界の映像を知る	インド映画の特徴と歴史を概観する		
				①インド			
7	世界の映像を知る②フランス□ □ □			世界の映像を知る	主にヌーヴェルヴァーグの作家の		
				②フランス	登場の背景と芸術を概観する		
8	リメイク映画と国民性			リメイク映画と	様々なリメイク映画と独特な脚色から		
				各国の国民性	その国民性と社会常識を探る		
9	韓国映画の進化①			韓国映画の進化①	歴史的背景を探る		
10	韓国映画の進化②			韓国映画の進化②	映像教育と留学		
					他の要素の取り込み方		
11	韓国映画の進化③			韓国映画の進化③	プロデュースシステム		
					映像制作の環境		
12	韓国映画の進化④			韓国映画の進化④	社会問題の取り入れ方		
					女性スタッフの台頭と労働環境		
13	日本映画のいま①			日本映画のいま①	日本映画の最盛期		
					黒澤明、溝口健二、小津安二郎・・		
14	日本映画のいま②			日本映画のいま②	テレビの発展と映画の衰退		
					日本独自のTV局映画の是非		
15	日本映画のいま③			日本映画のいま③	映画製作委員会の是非		
					つながらない系譜		

評価方法: 1. 小テスト 、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等